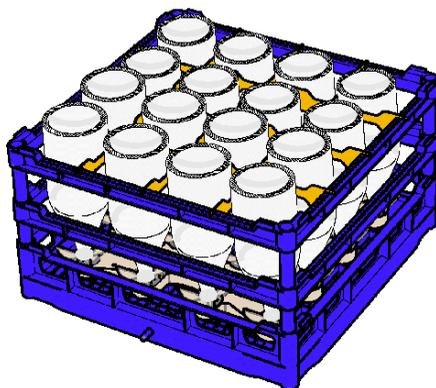
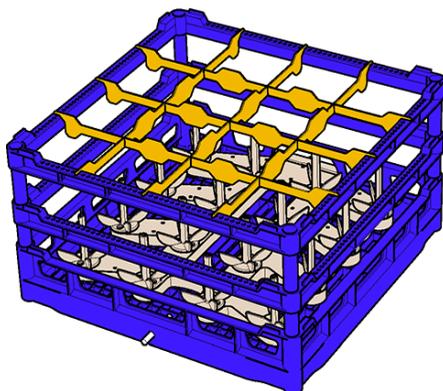


# ボトル用ラック

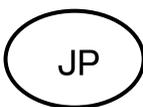
## オリジナル取扱説明書



DE:



EN:



ボトル用ラックの使用前に説明書をお読みください！

# コンテンツ

<b>1</b>	<b>取扱説明書に関する注記</b> .....	<b>3</b>
1.1	製品の識別	3
1.2	納入品目	3
1.3	該当する文書	3
1.4	表示規則	3
	1.4.1 説明書の安全記号	4
<b>2</b>	<b>安全性</b> .....	<b>4</b>
2.1	規定に従った使用	4
2.2	誤使用	5
2.3	安全に関する注意事項	5
2.4	スタッフに対する要件	5
<b>3</b>	<b>製品説明</b> .....	<b>6</b>
3.1	ボトルの特性	7
3.2	ボトルプログラム	8
<b>4</b>	<b>運転/操作</b> .....	<b>9</b>
<b>5</b>	<b>清掃</b> .....	<b>10</b>
<b>6</b>	<b>索引</b> .....	<b>11</b>

# 1 取扱説明書に関する注記

ボトル用ラックを使用する前に、取扱説明書と付属の文書を注意深く最後まで読み、いつでも手に取れる場所に大切に保管してください。

本取扱説明書は、[www.meiko-japan.com](http://www.meiko-japan.com) または <https://partnet.meiko-global.com> にてダウンロードできます。

## 1.1 製品の識別

本取扱説明書は、MEIKO 食器洗浄機 M-iClean U (U タイプ M2) および ET 8.1 (ET 8.1 タイプ M2) と組み合わせたボトル用ラックに適用されます。

## 1.2 納入品目

納入品の内訳：

- ・ 1x ボトル用ラック、1x アダプター
- ・ 関連文書（詳細は**付属文書**参照）

## 1.3 該当する文書

本取扱説明書以外の付属文書：

- ・ 取扱説明書 M-iClean U (U タイプ M2) / ET 8.1 (8.1 タイプ M2)
- ・ 簡易取扱説明書（納入品）

## 1.4 表示規則

**警告表示**

**▲ 危険** – 順守を怠ると重傷または致死に至る、差し迫った危険を意味しています。

**⚠ 警告** – 順守を怠ると重傷または致死に至るおそれのある、起こり得る危険を意味しています。

**⚠ 注意** – 順守を怠ると軽傷から中程度の怪我、または物的損害に至るおそれのある、起こり得る危険を意味しています。

## 使用上の注意



**注記** – 製品およびその使用に関する便利で重要な情報を意味しています。

### 文書の使用に関する注記:

- ・ 点 (・) は、列挙を意味します。
- ・ 数字 (1.) は、所定の順序で行われる複数の作業手順を意味します。
- ・ 図中のアイテム番号に相応するテキスト上のアイテム番号は、括弧にて表示されています:  
(1) 図中の位置番号 1
- ・ テキストは常に図の下にあり、次の図が表示されるまではその図を参照していません。

#### 1.4.1 説明書の安全記号



取扱説明書を読む

## 2 安全性

### 2.1 規定に従った使用

ボトル用ラックは業務用専用の機器として、ホテル、外食産業、共同ケータリングにおけるボトルの洗浄を行います。適したボトルタイプについては、“7”ページを参照。ボトル高さおよび直径は、最大値/最小値の範囲を外れてはいけません。重量が 30 g 未満のボトルや容器には、MEIKO ラック種類の保護柵 1000134 を使用できます。

ボトル用ラックは、食器洗浄機 M-iClean UM/UM+、UM タイプ M2、UM+ タイプ M2 のみに適しています。ボトル洗浄のためにボトル用ラックを使う場合は、食器洗浄機の下部回転アームの代わりに同梱のアダプターを装着し、ロックする必要があります。“9”ページを参照。ボトル用ラックは、ボトル用ラックで使用が許可されている洗浄プログラム (“8”ページを参照)でのみ使用できます。

## 2.2 誤使用

- ・ ボトル用ラックでの洗浄に適していないボトルを洗浄すること。“7”ページを参照。
- ・ 適正でない洗浄プログラムを使用すること（稼働時間が短すぎる、温度が低すぎる、すすぎ水流量が少なすぎる）。
- ・ 適切ではない食器洗浄機にてアダプターを使用すること（適しているのは M-iClean UM/UM+、UM タイプ M2、UM+ タイプ M2 のみです）。

さらに、付属する食器洗浄機の取扱説明書にある誤使用もすべてここに含まれます。

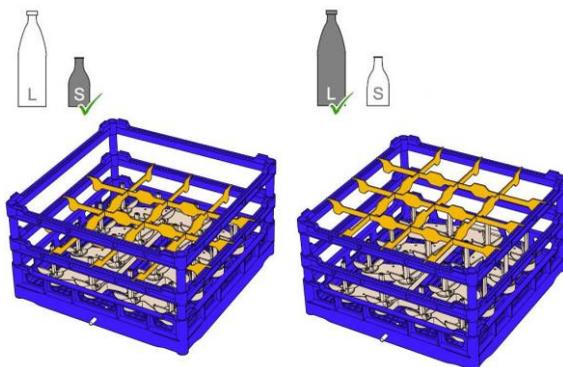
## 2.3 安全に関する注意事項

- ・ ボトル用ラックは、完璧な、機能に問題のない状態でのみ使用してください。
- ・ 食器は食器洗浄機の回転部に触れてはいけません。
- ・ 損傷している、または不完全なボトル用ラックやアダプターは使用しないでください。
- ・ ボトル用ラックやアダプターに変更を加えないでください。
- ・ 業務用食器洗浄機には、使用が許可されている市販の洗剤のみを正しく投入して使ってください。
- ・ ボトル用ラックを長期間使用しない場合は、事前に完全に排水してください。これには、ボトル用ラックを接続開口部を下にして立て、内部ダクトから水がすべて滴り落ちるのを待ちます。
- ・ ボトル用ラックは、日光が当たらず高温にもならない、清潔で乾燥した場所に保管します。

## 2.4 スタッフに対する要件

ボトル用ラックに対しては、食器洗浄機に対するものと同じ人員要件が適用されません。

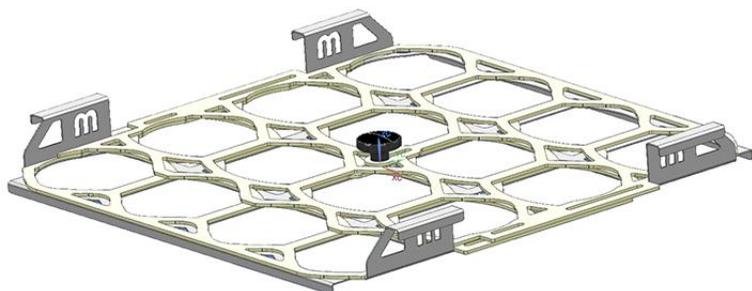
### 3 製品説明



ボトル用ラックでは、最大 16 本のボトルを洗浄できます。ボトル用ラックは、ベースラック、2段ラックフレーム、直径100 mm (3.94 in) 以上のボトル用の標準仕切りの4つの部品で構成されています。仕切りはボトルのサイズに応じて、小～中サイズのボトルの場合は下部ラックフレームに、大サイズのボトルの場合は上部ラックフレームに装着できます。

DIN 10511 (食品衛生、グラス洗浄機による業務用グラス洗浄) に準拠した衛生性に適う結果を得るには、ボトルをノズルの上に垂直に立て、ボトルプログラム (dg\_ref\_source\_inline></dg\_ref\_source\_inline>) を選択します。

#### 直径100 mm (3.94 in) 未満のボトル用ボトルセンタリング (オプション)



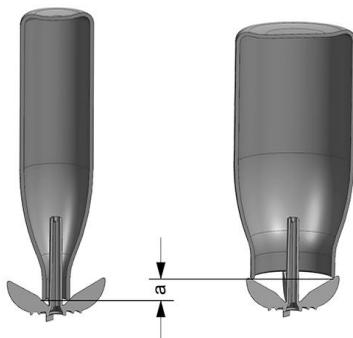
細いボトルをノズル上に垂直に固定するには、別売りのボトルセンタリング (# 9785788) を使います。ボトルセンタリングは、仕切りの代わりにラックフレームに差し込みます。

ボトル用ラックの操作については、“8”ページを参照。

“9”ページを参照

### 3.1 ボトルの特性

#### ボトル寸法



- a ボトルネック部分の外径が大きなボトルは、最大でノズル上方 15 mm / 0.59 in の位置に配置されます。

	M-iClean UM	M-iClean UM+
ボトルの最大高さ (ボトルネックの外径により異なります)	235-250 mm 9.25-9.84 in	355-370 mm 13.97-14.57 in
ボトル高さ (最小)	85 mm / 3.35 in	
ボトルネック外径 (最大)	80 mm / 3.15 in	
ボトル外径 (最大)	114 mm / 4.49 in	
ボトルネック内径 (最小)	18 mm / 0.71 in	

適切なボトルタイプ (ボトル1本ごとの最小重量 = 30 g / 1 oz (安全柵を除く)):

ボトルの内容物	制限
水	なし
ジュース/レモネード	洗浄開始までの乾燥時間 最大2時間
ミルク (乳児用哺乳瓶の洗浄には適していません)	
ビール/ワイン/シャンパン	

## 3.2 ボトルプログラム



### 注記

生産日が 2021 年 2 月以降の機械には、**ボトルプログラム No.25** が備わっています。

ボトル用ラックのために開発された独自のプログラムは、機械でファームウェアのアップデートを行うと利用可能になります。MEIKO サービスまでお問い合わせください。これはたとえば、定期メンテナンスによっても実行されます。

### 洗淨プログラムをクイック選択バーに入れる



1. MEIKO ボタンを 3 秒間押します。
2. **コード 10001** を入力します。
3. **i-menu** を呼び出します。
4. エントリー「**グローバル**」を選択し、確定します。
5. エントリー「**パラメーター**」を選択し、確定します。
6. 希望の**洗淨プログラムチャンネル**を選択し、確定します。
7. **「+」と「-」を使って、ボトルプログラム No. 25** を選択します。  
ボトルプログラム No. 25 がない場合（この場合は、グラスプログラム  が表示されます):
8. **カトラリープログラム No. 13** を選択します（標準機械の場合）。
9. **カトラリープログラム No. 20** を選択します（A<sub>0</sub> またはサーモシートプロセスが備わった機械の場合）。

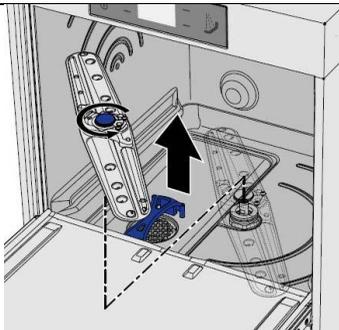


## 4 運転/操作

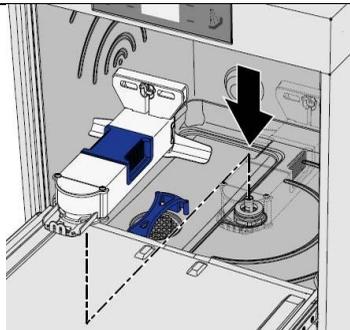
**⚠ 注意 - 高温の洗浄水、高温のボトルおよび機械部品による火傷/熱湯傷の危険**

- ・ ボトルは片付ける前に冷ましてください。
- ・ アダプターを交換する（取り付け/取り外し）には、事前に機械部品を冷ますか、または適切な手袋を着用してください。
- ・ 洗浄サイクル中はドアを開かないでください。

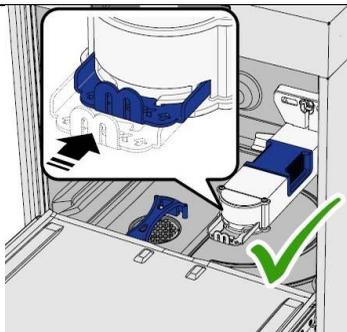
ボトル用ラックには調整式ボトルセンタリングが装備されています。ボトルセンタリングは、洗浄サイクルごとに、ボトルが各ノズル上の中央に垂直に立っているように毎回設定し、洗浄結果に悪影響が及ばないようにする必要があります。



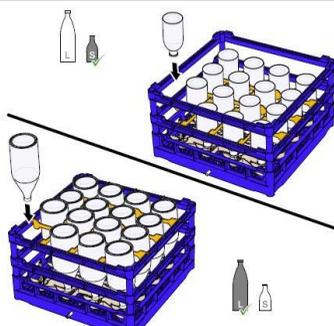
1. 下部洗浄アームを取り外します。



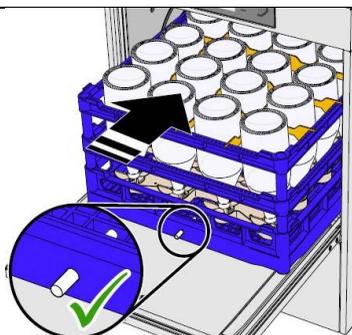
2. ボトル用ラック向けアダプターを洗浄アームハブにセットします。



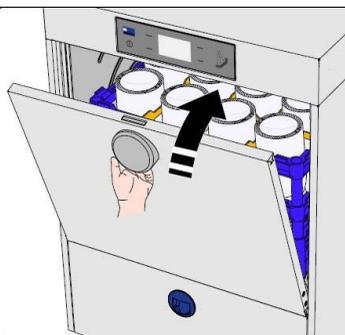
3. アダプターをロックします。



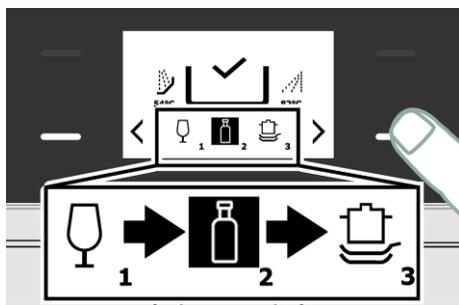
4. ボトル用ラックを装着します。小サイズのボトルの場合は、仕切りを下にずらします。



5. ボトル用ラックをスライドさせて食器洗浄機に入れます。ピンは前方を向いている必要があります。



6. ドアを閉じます。



7. ボトルプログラムを選択します。



8. プログラムを開始します。

## 5 清掃

ボトル用ラックを洗浄するには、アダプターを外し、下部洗浄アームは取り付けたまの状態で、任意のプログラムを選んで食器洗浄機内で洗浄できます。ノズルが詰まっている場合は、つまようじなどで掃除します。

## 6 索引

### ス

スタッフに対する要件 ..... 5

### ポ

ボトルの特性 ..... 7

ボトル洗浄プログラム ..... 8

### 使

使用上の注意 ..... 4

### 取

取扱説明書に関する注記 ..... 3

### 安

安全に関する注意事項 ..... 5

安全性 ..... 4

### 機

機械の名称 ..... 3

### 洗

洗浄 ..... 10

### 納

納入品目 ..... 3

### 表

表示規則 ..... 3

### 製

製品説明 ..... 6

### 規

規定に従った使用 ..... 4

### 該

該当する文書 ..... 3

### 誤

誤使用 ..... 5

### 説

説明書の安全記号 ..... 4

### 運

運転/操作 ..... 9

.....  
.....



**MEIKO Maschinenbau GmbH & Co. KG**

Englerstraße 3

77652 Offenburg

Germany

[www.meiko-global.com](http://www.meiko-global.com)

[info@meiko-global.com](mailto:info@meiko-global.com)